

Title: HIV 感染のリスクが高い MSM (男性間性交渉者) を対象とした、セックスパートナーとの関係と HIV 感染リスクに関する誤解との相関関係についてのネットワーク研究

抄録 (Abstract)

目的 (Objectives)

セックスパートナーとの関係は、HIV 感染リスクの認識に影響を与える。本研究の目的は、MSM (男性間性交渉者) の中でも最も HIV 感染のリスクが高いとされる違法ドラッグを使用する男娼を対象とし、彼らのセックスパートナーの HIV 感染の有無についての認識とパートナーとの関係に関するファクターについて調べた。まず、パートナー同士の関係に関するファクターを特定し、パートナーの HIV 感染の有無についての誤解 (パートナーは HIV 陽性もしくは不明だと回答しているが、HIV 陰性だと認識している) との相関関係を分析した。

方法 (Methods)

解析対象となった 168 組には、米国テキサス州ヒューストン在住の 116 人の男娼と彼らと面識のある者が含まれる。統計方法として、探索的因子分析と回帰分析を行った。

結果 (Results)

探索的因子分析の結果、6 つのパートナーとの関係に関するファクター ("親密な関係"、"献身的な関係"、"交友関係"、"金銭的關係"、"信頼関係"、"誠実な関係") が抽出された。"献身的な関係"である程、パートナーの HIV 感染の有無を誤解する割合が低かった (調整オッズ比=0.45)。一方、"信頼関係"が高いほど誤解の割合が高かった (調整オッズ比=2.78)。他にも、HIV 陰性であること (調整オッズ比=7.69) やパートナー同士がお互いゲイであることを自己認識していること (調整オッズ比=3.57) は誤解の割合を高めることが示された。一方、性労働の経験があること (調整オッズ比=0.29)、パートナーが両者ともに白人である場合 (調整オッズ比=0.16)、より高齢のセックスパートナーを持つこと (調整オッズ比=0.9) は誤解の割合が低かった。

結論 (Conclusions)

MSM 間のカップルを対象とした HIV 予防介入プログラムの構築において、セックスパートナーに対する信頼度を下げ、より献身的な関係を築くことが、パートナーの HIV 感染の有無を正しく認識することに効果があると期待される。

Disclaimer: This abstract has been translated and adapted from the original English-language content. Translated content is provided on an "as is" basis. Translation accuracy or reliability is not guaranteed or implied. BMJ is not responsible for any errors and omissions arising from translation to the fullest extent permitted by law, BMJ shall not incur any liability, including without limitation, liability for damages, arising from the translated text.